

TI:ME

アナログとデジタルの独立したパスにより、このレトロなエコー/ディレイ・エフェクトはあなたのトーンをウォームアップします。オーディオ信号の忠実度を向上させる高品質なオペアンプを採用したオール・アナログ信号経路により、ドライ信号を最高の状態で再現します。2つのデジタル・レコーディング・デバイスと入念に調整されたアナログ・フィルタリングをアナログ・ドライ・パスと並列に配置することで、これまでにないアンビエントなエコー・ユニットを実現しています。m/secノブで130msから720msのディレイ・タイム、タップ・テンポ・フットスイッチで最大1秒のディレイ・タイムを3分割(4分の1、付点8分の1、3連)、さらにタップ・フットスイッチを押し続けることでリピートを最大化(オシレート)できます。モーターのあらゆるバリエーションや不完全性を模倣したり、リピートにスムーズなコーラス/ビブラートを加えるために、MODノブでオン/オフの切り替えやレート/強度のコントロールが簡単にできる繊細なモジュレーションも追加しました。トゥルー・バイパスと、ディレイ・トレイル付きのプリステイン・バッファード・バイパスから選択可能。

Power supply

電源:9-12VDC (別売パワー・サブライ、センターマイナス) 消費電流:最大84mA

DC15V以上の電源を使用すると、ペダルに深刻な損傷を与え、保証が無効になる場合があります。

Controls

mod

ディレイ・トレイル・モジュレーションのレート/強度を設定します。

- ノブを反時計回りに回しきると、エフェクトはオフになります。ノブを時計回りに回すと、モジュレーションは低い設定ではモーターのワープをシミュレートし、高い設定ではスムーズなビブラートのように速く激しくなります。
- モジュレーションの速度と強度はディレイタイム (m/sec) の設定に依存し、最小ディレイタイムの設定ではモジュレーションが小さくなります。

m/sec	ディレイタイムを130msから720msの間で調整してください。ディレイタイムが長くなると、ディレイ信号は劣化します。
mix	ウェット (ディレイ) 信号の量を設定します。
feed	リピート数を調整します。最大にするとペダルが振動します。
tone	ディレイ・リピートを明るくしたり暗くしたりします。

bypass footswitch

エフェクトをバイパスまたはエンゲージします。

- 内部スイッチにより、トゥルー・バイパス (リレー) またはディレイ・トレイル付きバッファード・バイパスを選択できます。ポトム・プレートのネジを外し、アウトプット・ジャックの近くにある小さなスライド・スイッチを探します。小さなドライバーを使い、トゥルー・バイパスの場合はTポジションに、ディレイ・トレイルのあるバッファード・バイパスの場合はBポジションにセットします。
- バッファード・バイパス・モードの場合は、フィード・ノブを最大に設定しないでください。

tap/hold footswitch

タップしたテンポに従って、リピート間の時間を設定する。最後の2回のタップが保存され、希望のテンポになります。タップ・テンポの範囲は130msから1秒です。

- ディビジョン・トグル・スイッチで、タップ・テンポの機能を4分音符、付点8分音符、3連符から選択します。ディビジョン・トグル・スイッチの各設定でタップ・タイムが限界値を超えた場合、前のタップが保存されます。
- Tapフットスイッチを常に押し続けると、フィードバックが最大になり、ディレイの発振が起こります。フットスイッチを離すと通常動作になります。

正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら
<https://quanta-intl.jp/support/>



WARRANTY POLICY

この度はCrazy Tube Circuits製品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございました。

本品は厳密な製品検査に合格したものです。

御使用中に故障した場合は下記保証規定に従い修理・調整致します。

- 1 - 本保証書の有効期限はお買い上げ日より1年間です。
 - 2 - 本保証書は日本国内のみ有効です。
 - 3 - 保証期間内でも次の場合の修理は有償となります。
 - a. 消耗品（電池、真空管、パーツ等）の劣化による交換。
 - b. 保証期間が満了しているパーツが原因による故障。
 - c. お取扱い方法が不適当なために生じた故障。
 - d. お買い上げ後の運搬、落下や加重等による損傷、故障。
 - e. 天災（火災、浸水、地震、落雷等）による故障・破損。
 - f. 発電機の使用による故障。
 - g. 故障・破損の原因が本製品以外の機器にある。
 - h. メンテナンス不足による故障。
 - i. 指定外の者による改造、調整、部品交換などがされている。
 - j. 指定外の者による修理、調整、部品交換などにより生じた故障。
 - k. 保証書の字句が書き換えられている。
 - l. 保証期間内においても、保証書のご提示が無い。
 - m. 取扱説明書における禁止/注意事項を行ったために起きた破損
 - 4 - 修理中の代替品や商品の貸出し等は、いかなる場合におきましても一切行っておりません。
 - 5 - 保証書に購買日付、購買店舗等の記入が無い場合は無効となります。記入できない時はお買い上げ年月日・店名が証明できる領収書等と一緒に保管して下さい。
 - 6 - 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管して下さい。
-

